

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間とクローズド期間	原則として無期限です。 クローズド期間はありません。	
運用方針	中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	モーリシャス籍円建て外国投資法人「Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited」 Class A投資証券	主として、インドの証券取引所に上場する株式等を投資対象とします。ただし、直接投資に加えて、預託証券を用いた投資等を行うことがあります。
	証券投資信託「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券	主としてわが国の短期公社債および短期金融商品等に投資します。
投資制限	<p>①投資信託証券、短期社債等およびコマースナル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。</p> <p>②同一銘柄の投資信託証券への投資は、当該投資信託約款または規約においてファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることが記載されている投資信託証券については、信託財産の純資産総額に対する同一銘柄の時価総額の制限を受けません。</p> <p>③株式への直接投資は行いません。</p> <p>④外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>⑤外貨建て有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。</p> <p>⑥同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会の規則に定めるエクスポージャーがルックスルーできる場合に該当しないときは、投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>⑦一般社団法人投資信託協会の規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>	
分配方針	毎決算時に、委託者が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わない場合があります。	

# 新生・UTIインドファンド

## 運用報告書（全体版）

第15期（決算日 2021年12月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「新生・UTIインドファンド」は、去る2021年12月10日に第15期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



東京都中央区日本橋室町2-4-3

ホームページアドレス <http://www.shinsei-investment.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

投資信託部

電話番号 03-6880-6448

受付時間 営業日の9:00~17:00

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		債組入比率	債券証券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税金配	み騰落	騰落	騰落				
	円		円		%	%	%	%	百万円
11期(2017年12月11日)	18,849		0		34.8	17,595		98.7	26,166
12期(2018年12月10日)	17,882		0	△	5.1	16,076		98.5	24,998
13期(2019年12月10日)	19,001		0		6.3	16,985	0.1	98.6	26,813
14期(2020年12月10日)	22,312		0		17.4	17,831	0.0	98.4	26,716
15期(2021年12月10日)	33,039		0		48.1	24,786	0.0	98.4	44,837

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 各組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 純資産総額は単位未滿を切捨て、騰落率、各組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 参考指数は、S&P BSE100種指数(ムンバイ100種指数、ローカルベース)をもとに委託者が独自に円換算したもので、設定日当日を10,000として指数化しております。なお、指数化にあたっては、前営業日の同指数を営業日当日の為替を使用し独自に円換算しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債組入比率	債券証券組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率			
(期首)	円	%		%	%	%	%
2020年12月10日	22,312	—	17,831	—	0.0		98.4
12月末	23,310	4.5	18,348	2.9	0.0		98.4
2021年1月末	23,699	6.2	18,544	4.0	0.0		98.5
2月末	25,712	15.2	20,649	15.8	0.0		99.2
3月末	26,825	20.2	20,958	17.5	0.0		99.0
4月末	26,282	17.8	20,510	15.0	0.0		98.2
5月末	27,992	25.5	21,921	22.9	0.0		99.0
6月末	28,577	28.1	22,124	24.1	0.0		98.5
7月末	29,494	32.2	21,928	23.0	0.0		98.9
8月末	31,436	40.9	23,862	33.8	0.0		98.3
9月末	32,786	46.9	24,952	39.9	0.0		98.8
10月末	33,789	51.4	25,435	42.6	0.0		97.7
11月末	32,575	46.0	24,451	37.1	0.0		98.6
(期末)							
2021年12月10日	33,039	48.1	24,786	39.0	0.0		98.4

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 騰落率は期首比で表示しています。

(注) 各組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

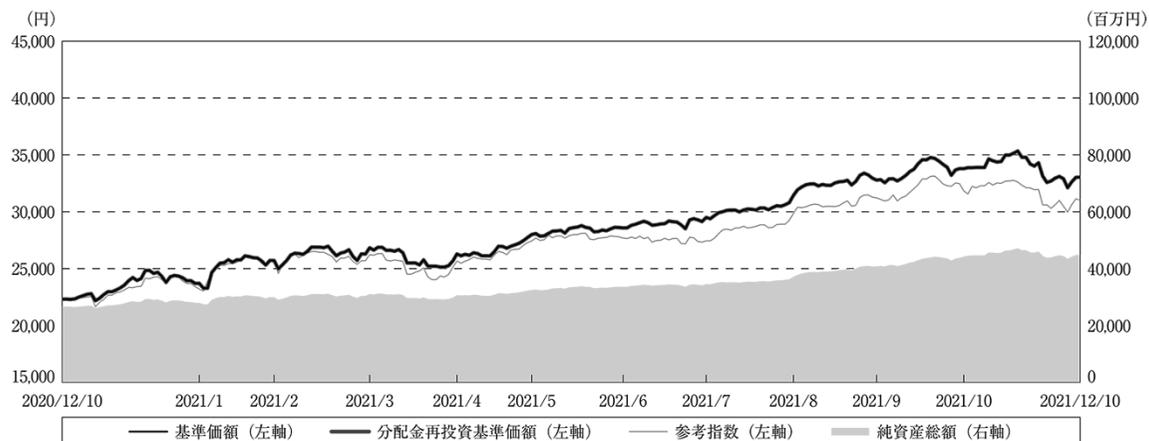
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 騰落率、各組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 参考指数は、S&P BSE100種指数(ムンバイ100種指数、ローカルベース)をもとに委託者が独自に円換算したもので、設定日当日を10,000として指数化しております。なお、指数化にあたっては、前営業日の同指数を営業日当日の為替を使用し独自に円換算しています。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移



期 首：22,312円

期 末：33,039円 (既払分配金(課税前)：0円)

騰落率：48.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(課税前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2020年12月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとします。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当期における基準価額の主な変動要因は、以下の通りとなります。

#### <上昇の要因>

- ・2020年末から2021年2月にかけて新型コロナウイルスの新規感染者数が横ばいで推移したことを好感して、インド株式市場が上昇したこと。
- ・新型コロナウイルスの新規感染者数が6月をピークに減少傾向となったことに加え、インド政府やRBI(インド準備銀行)による財政・金融支援も継続されたため、8月以降のインド株式市場が上昇したこと。

#### <下落の要因>

- ・2021年3月から5月にかけて新型コロナウイルスのデルタ株による新規感染者数が急激に増加し経済への悪影響が懸念されるなか、インド株式市場が下落したこと。

### <インド株式市場>

2020年度第1四半期（2020年4～6月期）と第2四半期（7～9月期）のマイナス成長から回復した第3四半期（10～12月期）の実質GDP（国内総生産）成長率は、前年同期比+0.5%となり、第4四半期（2021年1～3月）には更に回復を見せ、同+1.6%となりました。

2021年度に入り第1四半期（4～6月）は、3月から5月にかけて新型コロナウイルスのデルタ株による新規感染者数が急激に増加しましたが、実質GDP成長率は、前年同期からの反動もあり前年同期比+20.1%の高成長を記録し、第2四半期（7～9月）の実質GDP成長率も同+8.4%となりました。また上半期ベースでは、2020年上半期（4～9月）の実質GDP成長率が前年同期比-15.9%だったのに対して、2021年度上半期（4～9月）は同+13.7%となりました。2021年度第2四半期（7～9月）の政府消費は前年同期比+8.7%、個人消費支出は同+8.6%となり、その結果、総消費支出は実質GDP成長率に+5.6%貢献しました。金融政策会合は、2021年度のGDP成長率予測を前年度比+9.5%に維持しました。

期中のCPI（消費者物価指数）は、前年同月比+4%から同+6.5%の範囲で推移しました。これは主に、相対的に価格変動が大きい食料と燃料価格を除いたコアインフレ率が上昇したにもかかわらず、予想よりも低い食料インフレ率によって抑えられました。2021年10月のCPIは8月の前年同月比+5.3%から同+4.48%に低下しました。食料インフレ率は2020年11月以降軟化していません（2021年2月・3月を除く）。過去1年間のコアインフレ率は、前年同月比+5.5%から同+6.5%の範囲で推移しました。8月の金融政策会合では、農業生産高の好調と食料インフレ率の軟化を背景として、インフレ動向は2021年度第3四半期（10～12月）に低下するとの見通しでした。しかし、その後も原油価格や金属・エネルギー価格の上昇、サプライチェーンの混乱によるインフレの上昇圧力は続いています。RBIは、CPIの上昇率は2021年度第3四半期（10～12月）に前年同月比+5.1%、第4四半期（2022年1～3月）に同+5.7%、2022年度第1四半期（4～6月）に同+5.0%、第2四半期（7～9月）には同+5.0%になると予想しており、したがって、2021年度通期のインフレ率は前年比+5.3%と予想しています。

RBIは、12月の金融政策会合で政策金利を据え置き、金融緩和的な姿勢を維持しました。これにより、政策金利と金融スタンスは2020年5月以降変更されていません。RBIの緩和的なスタンスは、特に手元流動性が必要な中小企業の支援となっています。経済成長についてRBIは、地方での旺盛な需要、都市部での需要の回復および強力な輸出等を背景に、経済活動は勢いを増していると考えています。一方で、コモディティ価格の上昇、半導体の不足、潜在的な金融市場の変動等の世界的な要因による下振れリスクを懸念しています。

### <日本短期金融市場>

国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、日銀（日本銀行）による長短金利操作付き量的・質的金融緩和の影響等から、期を通じて0%を下回る水準で推移し、期末時点においては-0.1208%程度の水準となりました。

### <為替市場>

当期中、インド・ルピーは対円で約4.11%上昇し、1インド・ルピー1円52銭で期末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

### <新生・UTIインドファンド>

当ファンドは、主にインド株式へ投資を行うモーリシャス籍の円建て外国投資法人「Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited」Class A投資証券（以下、「投資先ファンド」といいます）と、主としてわが国の短期公社債および短期金融商品に投資する証券投資信託「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としています。また、基本方針として投資先ファンドの組入比率を高位に保つことをめざしています。

当期は、基本方針に従い投資先ファンドの組入比率を高位に保つことによって、実質的にインド株式への投資を行うとともに、余裕資金を効率的に運用するために新生 ショートターム・マザーファンド受益証券を一部組入れた運用を行いました。

### <Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class A>

投資先ファンドの株式組入比率は、期を通じて概ね96%以上で推移し、投資先ファンドの基準価額の騰落率は、+50.62%となりました。

当期を通じて、消費者サービスおよびヘルスケア・サービス分野を中心に投資する一方で、銀行・金融サービスセクターへの投資を抑えることよってプラスに寄与しました。加えて、情報技術、工業製造、消費財の各セクターにおける銘柄選択によっても恩恵を受けました。一方、金属セクターへの投資を抑えたことは、マイナスに影響しました。

### <新生 ショートターム・マザーファンド>

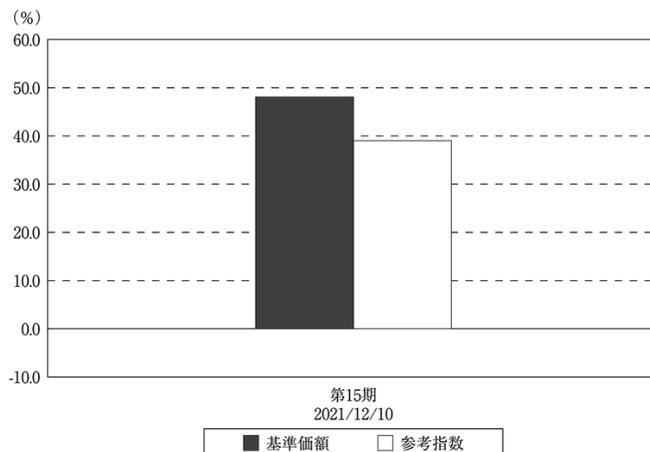
新生 ショートターム・マザーファンドでは、主として国庫短期証券等を組入れましたが、期を通じて、国庫短期証券等の利回りがマイナスとなっている状況が続きました。当期において、基準価額に大きな変動はありませんでした。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率比）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（課税前）込みです。

## 分配金

第15期は、投資先ファンドの水準等を勘案し、分配を見送ることとしました。収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行いました。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第15期
	2020年12月11日～ 2021年12月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	23,039

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 分配金は原則として決算日（原則、12月10日。当該日が休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日までに支払いを開始しております。

(注) 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

(注) 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## ○今後の運用方針

---

### <新生・UTIインドファンド>

当ファンドでは引き続き、投資先ファンドへの投資を通じてインド株式を高位に組入れるとともに、余裕資金を効率的に運用するために新生 ショートターム・マザーファンドを一部組み入れた運用を行っていく方針です。

### <Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class A>

2021年11月のインド株式市場は、新型コロナウイルスの新しい変異株であるオミクロン株が発見されたため調整しました。オミクロン株は、以前の変異株と違って特別な変異を経ているようですが、感染が広がる傾向や感染力の強さは依然として不明であり、短期的には経済回復への脅威となる可能性があります。物品・サービス税やe-way bill（電子運送状）等のデータが示すように需要の勢いは引き続き堅調であり、借入の伸びも消費復活の兆候を示しています。企業にとって重要な課題であった原材料価格の上昇等のインフレ動向は、過去2ヵ月は低下傾向にあり、この傾向が続けば企業にプラス要因となります。最近のインド株式市場の調整により割高感が修正されましたが、オミクロン株による市場への影響、インフレの持続、世界の中央銀行による金融緩和支援の縮小等の不確実性を考慮すると、短期的にインドの株式市場は下落する可能性があります。しかし、インド経済の成長に関する長期的な見通しは、引き続き良好です。投資先ファンドでは、インドが今後世界経済の成長をけん引する役割を担い、それによってインド企業の収益拡大にもつながると考えています。

投資先ファンドは、回復力のあるビジネスモデル、豊富なキャッシュフローの創出および実質的に負債をほとんど保有していない、優れた事業を行う企業に投資するという方針を引き続き遵守します。また、投資先ファンドは、収益性が資本コストをはるかに上回り、且つ業界の成長率をも上回り、同業他社や競争力の劣る企業から市場シェアを獲得して高い使用資本利益率を生み出す企業へ引き続き投資していきます。

業種では、銀行・金融サービス、情報技術サービス、ヘルスケア・サービス、自動車・自動車部品、消費財の各セクターへ引き続き積極的に投資していきます。一方、金属、エネルギーの各セクターには引き続き慎重な見方をしています。

### <新生 ショートターム・マザーファンド>

今後もしばらくの間、日銀は、2%の「物価安定の目標」の実現を目指し、これを安定的に持続するために必要な時点まで、金融緩和を継続していくものと想定しており、引き続き低水準の金利環境が続くとみています。マザーファンドでは、引き続き当初の運用方針に基づき、国庫短期証券等に投資する方針です。

# ○1万口当たりの費用明細

(2020年12月11日～2021年12月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	358	1.254	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(122)	(0.429)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(220)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 16)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.012	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	( 3)	(0.010)	法定開示資料の印刷にかかる費用
合 計	361	1.266	
期中の平均基準価額は、28,539円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

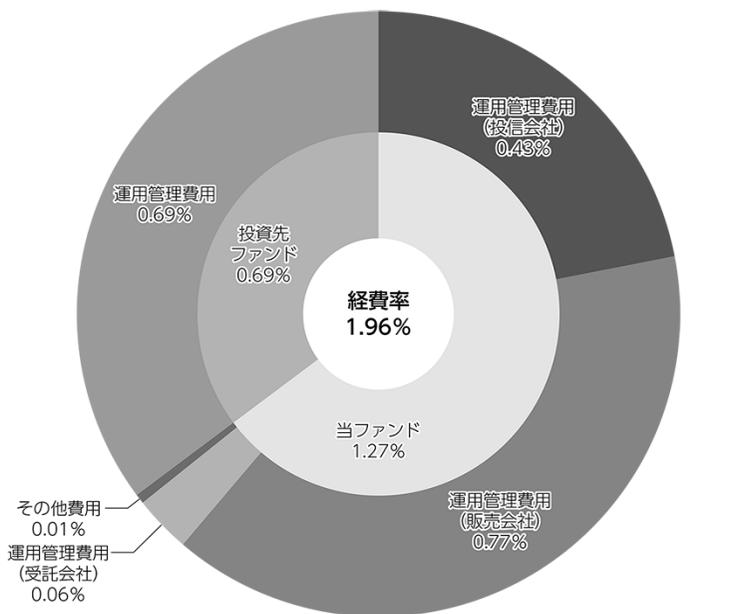
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.96%です。



(単位:%)

経費率 (①+②)	1.96
①当ファンドの費用の比率	1.27
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年12月11日～2021年12月10日)

### 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class A	千口	千円	千口	千円
		1,545	6,450,000	475	1,550,000

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未满是切捨てて表示しています。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期中における売買及び取引はありません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年12月11日～2021年12月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2021年12月10日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class A		千口	千口	千円	%
		9,419	10,490	44,119,218	98.4
合計		9,419	10,490	44,119,218	98.4

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨てて表示しています。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、小数点第2位を四捨五入して表示しています。

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
新生 ショートターム・マザーファンド	千口 731	千口 731	千円 741

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てて表示しています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2021年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 44,119,218	% 97.6
新生 ショートターム・マザーファンド	741	0.0
コール・ローン等、その他	1,087,000	2.4
投資信託財産総額	45,206,959	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する評価額の割合で、小数点第2位を四捨五入して表示しています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年12月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	45,206,959,355
コール・ローン等	1,086,998,886
投資証券(評価額)	44,119,218,826
新生 ショートターム・マザーファンド(評価額)	741,643
(B) 負債	369,790,686
未払解約金	122,713,368
未払信託報酬	245,127,495
未払利息	2,082
その他未払費用	1,947,741
(C) 純資産総額(A-B)	44,837,168,669
元本	13,570,954,809
次期繰越損益金	31,266,213,860
(D) 受益権総口数	13,570,954,809口
1万口当たり基準価額(C/D)	33,039円

(注) 当作成期運用報告書作成時点では監査未了です。

(注) 当ファンドの期首元本額は11,974,163,019円、期中追加設定元本額は5,321,883,128円、期中一部解約元本額は3,725,091,338円です。

(注) 1口当たり純資産額は3,3039円です。

○損益の状況 (2020年12月11日～2021年12月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 496,902
受取利息	10
支払利息	△ 496,912
(B) 有価証券売買損益	11,025,192,662
売買益	12,917,935,764
売買損	△ 1,892,743,102
(C) 信託報酬等	△ 435,129,550
(D) 当期損益金(A+B+C)	10,589,566,210
(E) 前期繰越損益金	6,356,684,914
(F) 追加信託差損益金	14,319,962,736
(配当等相当額)	( 13,686,269,041)
(売買損益相当額)	( 633,693,695)
(G) 計(D+E+F)	31,266,213,860
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	31,266,213,860
追加信託差損益金	14,319,962,736
(配当等相当額)	( 13,686,269,041)
(売買損益相当額)	( 633,693,695)
分配準備積立金	16,946,748,026
繰越損益金	△ 496,902

(注) 当作成期運用報告書作成時点では監査未了です。

(注) 損益の状況の中で**(B) 有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(C) 信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で**(F) 追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0.0円)、費用控除後の有価証券等損益額(10,589,835,148円)、収益調整金(14,319,465,834円)および分配準備積立金(6,356,912,878円)より分配対象収益は31,266,213,860円(10,000口当たり23,039円)ですが、当期に分配した金額はありません。

# 新生 ショートターム・マザーファンド

## 運用報告書

### 第15期

決算日 2021年12月10日

(計算期間：2020年12月11日から2021年12月10日まで)

当マザーファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	わが国の短期公社債および短期金融商品に投資を行い、利子等収益の確保を図り、信託財産の安定的な収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	わが国の短期公社債および短期金融商品
組入制限	<p>①外貨建て資産への投資は行いません。</p> <p>②先物取引等は価格変動リスクおよび金利変動リスクを回避するため行うことができます。</p> <p>③スワップ取引は金利変動リスクを回避するため行うことができます。</p> <p>④委託者は、デリバティブ取引等（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、新株予約権証券、新投資口予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書にかかる取引および選択権付債券売買を含みます。）について、一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えることとなる投資の指図をしません。</p> <p>⑤一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組入比率	純資産総額
	円	騰落率	騰落率	騰落率		
11期(2017年12月11日)	10,177	△0.0	10,145	△0.2	—	248
12期(2018年12月10日)	10,175	△0.0	10,136	△0.1	—	208
13期(2019年12月10日)	10,168	△0.1	10,126	△0.1	55.9	107
14期(2020年12月10日)	10,155	△0.1	10,111	△0.2	68.4	43
15期(2021年12月10日)	10,144	△0.1	10,099	△0.1	59.9	41

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注) 純資産総額は単位未満を切捨て、騰落率、組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 参考指数は国庫短期証券3ヵ月物の利回りをもとに委託者が独自に算出した指数で、当初設定日を10,000として指数化しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債組入比率
	円	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2020年12月10日	10,155	—	10,111	—	68.4
12月末	10,154	△0.0	10,110	△0.0	68.4
2021年1月末	10,153	△0.0	10,110	△0.0	68.4
2月末	10,153	△0.0	10,110	△0.0	70.2
3月末	10,151	△0.0	10,109	△0.0	70.1
4月末	10,150	△0.0	10,108	△0.0	71.9
5月末	10,149	△0.1	10,108	△0.0	71.9
6月末	10,149	△0.1	10,107	△0.0	71.9
7月末	10,148	△0.1	10,104	△0.1	71.9
8月末	10,147	△0.1	10,102	△0.1	59.9
9月末	10,146	△0.1	10,100	△0.1	59.9
10月末	10,145	△0.1	10,100	△0.1	59.9
11月末	10,145	△0.1	10,099	△0.1	60.0
(期末) 2021年12月10日	10,144	△0.1	10,099	△0.1	59.9

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 騰落率は期首比で表示しています。

(注) 組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

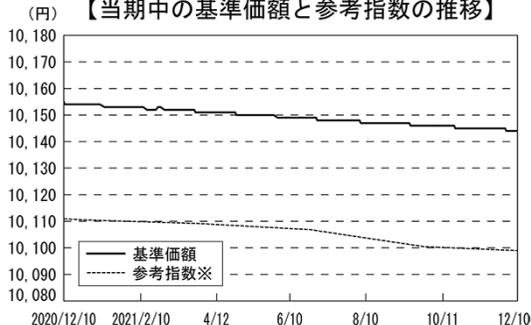
(注) 騰落率、組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 参考指数は国庫短期証券3ヵ月物の利回りをもとに委託者が独自に算出した指数で、当初設定日を10,000として指数化しております。

○当期の運用経過

(2020年12月11日～2021年12月10日)

【当期中の基準価額と参考指数の推移】



【基準価額の主な変動要因】

基準価額は期首10,155円、期末10,144円となりました。

【市況環境】

国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、日銀（日本銀行）による長短金利操作付き量的・質的金融緩和の影響等から、期を通じて0%を下回る水準で推移し、期末時点においては-0.1208%程度の水準となりました。

※参考指数は、国庫短期証券3ヵ月物の利回りをもとに委託者が独自に算出した指数で、当初設定日を10,000として指数化しております。

【運用状況】

「新生 ショートターム・マザーファンド」では、主として国庫短期証券等を組み入れましたが、期を通じて、国庫短期証券等の利回りがマイナスとなっている状況が続きました。当期において、基準価額に大きな変動はありませんでした。

【今後の運用環境の見通しと運用方針】

今後もしばらくの間、日銀は、2%の「物価安定の目標」の実現を目指し、これを安定的に持続するために必要な時点まで、金融緩和を継続していくものと想定しており、引き続き低水準の金利環境が続くとみています。当ファンドでは、引き続き当初の運用方針に基づき、国庫短期証券等に投資する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年12月11日～2021年12月10日)

当期中に発生した費用はありません。

○売買及び取引の状況

(2020年12月11日～2021年12月10日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 80,033	千円 — (85,000)

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨てて表示しています。

(注) ( )内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年12月11日～2021年12月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年12月10日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	25,000 (25,000)	25,006 (25,006)	59.9 (59.9)	— (—)	— (—)	— (—)	59.9 (59.9)
合 計	25,000 (25,000)	25,006 (25,006)	59.9 (59.9)	— (—)	— (—)	— (—)	59.9 (59.9)

- (注) ( )内は非上場債で内書きです。  
 (注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注) 単位未満は切捨てて表示しています。  
 (注) —印は組入なしです。  
 (注) 評価については価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1041回国庫短期証券	—	25,000	25,006	2022/3/7
合 計		25,000	25,006	

- (注) 額面・評価額の単位未満は切捨てて表示しています。

○投資信託財産の構成

(2021年12月10日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円	%	千円	%
	25,006	59.9	25,006	59.9
コール・ローン等、その他	16,707	40.1	16,707	40.1
投資信託財産総額	41,713	100.0	41,713	100.0

- (注) 評価額の単位未満は切捨てて表示しています。  
 (注) 比率は、投資信託財産総額に対する評価額の割合で、小数点第2位を四捨五入して表示しています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年12月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	41,713,328	
コール・ローン等	16,706,653	
公社債(評価額)	25,006,675	
(B) 負債	32	
未払利息	32	
(C) 純資産総額(A-B)	41,713,296	
元本	41,123,066	
次期繰越損益金	590,230	
(D) 受益権総口数	41,123,066口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,144円	

<注記事項>

期首元本額	43,187,985円
期中追加設定元本額	94,967円
期中一部解約元本額	2,159,886円
1口当たり純資産額	1.0144円
期末における元本の内訳	
米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース	26,528,965円
新生・U T I インドインフラ関連株式ファンド	7,097,650円
新生・フラトンV P I Cファンド	4,607,481円
新生・ワールドラップ・セレクト	982,415円
米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式コース	982,125円
新生・U T I インドファンド	731,115円
早期償還条項付・新興国債券戦略1912	98,348円
ESGフォーカス コムジェスト・クオリティグロース・世界株式ファンド	65,807円
ESGフォーカス コムジェスト・クオリティグロース・日本株式ファンド	29,160円

○損益の状況 (2020年12月11日~2021年12月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 11,252	
支払利息	△ 11,252	
(B) 有価証券売買損益	△ 34,395	
売買損	△ 34,395	
(C) 当期損益金(A+B)	△ 45,647	
(D) 前期繰越損益金	667,273	
(E) 追加信託差損益金	1,433	
(F) 解約差損益金	△ 32,829	
(G) 計(C+D+E+F)	590,230	
次期繰越損益金(G)	590,230	

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で**(F)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<参考情報> 投資対象ファンドの概要

ファンド名	Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class A投資証券	
形態	モーリシャス籍の円建て外国投資法人	
運用の基本方針	成長性の高いインド株式を主要投資対象とし、中長期的な信託財産の成長をめざした運用を行います。	
主な投資対象	ボンベイ証券取引所またはナショナル証券取引所に上場する株式等を主要投資対象とします。ただし、直接投資に加えて、預託証券*を用いた投資も行うことがあります。	
ファンドの関係法人	運用会社	UTI Investment Management Company (Mauritius) Limited
	運用助言者	UTI ASSET MANAGEMENT COMPANY LIMITED
	管理会社	Deutsche International Trust Corporation (Mauritius) Limited
ファンドの特徴	<p>1. 主として、ボンベイ証券取引所またはナショナル証券取引所に上場する株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざした運用を行います。</p> <p>2. マクロ経済や、セクター見通しの分析によるトップダウン・アプローチ、個別企業の予想P E Rなどの定量分析や、成長性などの定性分析によるボトムアップ・アプローチにより、ポートフォリオを構築します。</p> <p>3. 運用会社であるUTI Investment Management Company (Mauritius) Limited は、UTI ASSET MANAGEMENT COMPANY LIMITED からの投資助言をもとに運用を行います。</p> <p>* 当ファンドは純資産総額の10%を超えて借入れを行いません。</p>	
手数料等	申込手数料	申込手数料はかかりません。
	運用報酬および管理報酬等	年率0.8% (上限)
決算日	毎年3月31日	

\* 預託証券とは、企業の株式を海外でも流通させるために、企業の株式を現地の銀行等に預託し、預託を受けた現地の銀行等が株式の代替として発行する証券のことをいいます。預託証券は株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。

損益計算書(2021年3月31日に終了した会計年度)

	2021年3月31日に 終了した会計年度
	日本円
〈収入〉	
配当収入	114,620,771
売買目的投資売却益	2,557,120,846
投資未実現利益	13,440,124,223
	<u>16,111,865,840</u>
〈費用〉	
管理事務代行及び評価手数料	17,385,890
監査報酬	1,198,288
外国為替に関する未実現損失	(17,507,139)
銀行費用	421,822
仲介手数料	23,247,628
保管報酬	7,502,089
ライセンス・フィー	306,253
運用報酬	171,519,131
専門家手数料	1,192,924
投資未実現損失	
	<u>205,266,886</u>
税引前利益	15,906,598,954
法人税	(519,437,348)
当期利益	<u>15,387,161,606</u>
その他包括利益	
翌期に利益もしくは損失に再分類されるその他包括利益	
売買目的投資における純利益	—
翌期に利益もしくは損失に再分類されるその他包括純利益	<u>—</u>
営業上の償還可能優先株の保有者に帰属する純資産の純増	15,387,161,606

組入銘柄明細表（2021年3月末現在）

銘柄	株数	評価額		構成比 (%)
		外貨評価 (インド・ルピー)	円貨評価 (円)	
<サービス> 3M India Ltd	5,184	156,756,643	236,221,584	0.77
<セメント> SHREE CEMENT LTD	15,718	463,294,337	698,153,010	2.29
<ヘルスケア・サービス> DR. LAL PATH LAB	150,009	406,141,867	612,028,130	2.01
METROPOLIS HEALTHCARE LTD	140,563	315,008,712	474,696,673	1.56
SUVEN PHARMACEUTICALS LTD	457,750	226,769,350	341,725,964	1.12
<医薬品> DIVI'S LABORATORIES LTD	90,809	329,641,210	496,746,851	1.63
IPCA LABORATORIES LTD	164,273	312,578,664	471,034,756	1.54
TORRENT PHARMACEUTICALS LTD	119,719	304,229,923	458,453,772	1.50
AJANTA PHARMA LTD	165,012	295,907,770	445,912,854	1.46
CADILA HEALTHCARE LIMITED FV 1	618,494	272,663,080	410,884,689	1.35
Eris Lifescience Ltd	330,050	199,498,722	300,630,986	0.98
SYNGENE INTERNATIONAL LTD	280,648	152,490,091	229,792,180	0.75
POLY MEDICURE LTD	121,536	99,367,834	149,740,557	0.49
<化学> PIDILITE INDUSTRIES LTD	143,510	259,745,925	391,419,416	1.28
ROSSARI BIOTECH LTD	112,566	116,798,482	176,007,356	0.58
<銀行・金融サービス> HDFC BANK LIMITED	784,868	1,172,239,601	1,766,485,234	5.79
BAJAJ FINANCE LTD	223,370	1,150,109,789	1,733,137,115	5.68
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	321,229	802,735,212	1,209,667,287	3.96
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	429,881	754,011,274	1,136,243,631	3.72
AU Small Finance Bank Limited	547,287	671,110,682	1,011,318,086	3.31
INDUSIND BANK LTD	317,490	302,885,461	456,427,759	1.50
AAVAS Financier Ltd	117,029	283,081,448	426,584,461	1.40
<建設> CERA SANITARYWARE LTD	36,170	141,220,340	212,809,434	0.70
<資本財> ASTRA POLY TECH	457,171	739,107,821	1,113,785,144	3.65
GRINDWELL NORTON LTD	290,606	276,773,154	417,078,292	1.37
SCHAEFFLER INDIA LIMITED	45,992	248,848,917	374,998,368	1.23
<自動車・自動車部品> MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD	2,197,760	442,958,528	667,508,330	2.19
Endurance Technologies LTD	262,028	380,818,394	573,867,382	1.88
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	43,030	295,175,047	444,808,690	1.46
EICHER MOTORS LTD	95,975	249,894,906	376,574,603	1.23
AMARA RAJA BATTERIES LTD	194,350	165,877,726	249,966,434	0.82

銘柄	株数	評価額		構成比 (%)
		外貨評価 (インド・ルピー)	円貨評価 (円)	
<b>&lt;消費財&gt;</b>				
AVENUE SUPERMARTS LTD	182,014	519,477,056	782,816,540	2.56
INDIAMART INTERMESH	49,810	385,158,316	580,407,348	1.90
CROMPTON GREAVES CONSUMER ELECTRICALS LT	853,496	335,850,676	506,104,093	1.66
JUBILANT FOODWORKS LTD	114,300	332,961,615	501,750,475	1.64
HAVELLS INDIA LTD	273,858	287,523,514	433,278,351	1.42
TITAN COMPANY LIMITED	182,891	284,834,443	429,226,105	1.41
BERGER PAINTS INDIA LTD	348,150	266,212,899	401,164,706	1.31
MARICO LTD	537,207	221,060,680	333,123,388	1.09
Nestle India Ltd	12,850	220,637,711	332,486,002	1.09
Dabur India Ltd	385,720	208,558,804	314,283,912	1.03
Sheela Foam Limited	96,998	191,687,450	288,859,930	0.95
RELAXO FOOTWEARS LTD	194,800	170,284,420	256,607,022	0.84
Barbeque-Nation Hospitality Limited	240,000	120,000,000	180,831,826	0.59
Symphony Ltd	78,917	99,743,196	150,306,203	0.49
LA OPALA RG LTD	294,222	65,199,595	98,251,349	0.32
<b>&lt;情報技術サービス&gt;</b>				
LARSEN & TOUBRO INFOTECH LTD	233,889	946,782,688	1,426,737,023	4.67
INFOSYS LTD	599,018	819,306,869	1,234,639,646	4.04
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	199,312	633,333,810	954,390,913	3.13
MINDTREE LTD	274,606	572,416,206	862,592,233	2.83
INFO EDGE INDIA LTD	123,466	527,971,483	795,617,062	2.61
<b>&lt;繊維&gt;</b>				
PAGE INDUSTRIES LTD	7,770	235,711,885	355,201,756	1.16
<b>&lt;通信&gt;</b>				
BHARTI AIRTEL LTD	425,175	219,943,027	331,439,161	1.09
<b>&lt;農業用化学&gt;</b>				
PI INDUSTRIES LTD	123,428	278,274,597	419,340,864	1.37
合計	評価額	19,930,671,853	30,034,164,938	98.4
	銘柄数	—		

(注) 評価額は、2021年3月末現在の評価額です。

(注) 構成比(%)は、資産(ネット)に対する市場価格構成比です。

(注) 業種はUTIアセット・マネジメントの業種区分に基づいています。

(注) データ提供元: Deutsche International Trust Corporation (Mauritius) Limited (同社は投資先ファンドの管理会社です。)

(注) 銘柄明細は、Shinsei UTI India Fund (Mauritius) Limited Class Aについての情報です。